

第4回 広島真宗カウンセリング学習会

9月29日(水)～30日(木) 於 広島別院 講師 松岡 宗淳 先生

公開講演会 29日(水) 13:30～15:30 (1000円)

体験学習 29日(水) 15:45～17:00・19:00～21:00 (3500円) /30日(木) 9:00～12:00・13:00～15:00 (3500円)

【ご案内】 私たちは、誰にも言えない悩みを心の底にしまって生きています。その悩みがますます多様化、複雑化していく現代、その苦悩に 대응しようとする試みとして、「カウンセリング・心理療法」があります。また他方では「抜苦与薬」を目的とする仏教(仏法・仏道)、凡夫の「除苦悩法」を開示する真宗があります。今、両者の出会いと統合が求められています。「真宗カウンセリング」はまさにそういう課題に応えようとする実践であり、試みです。

ていただくとともに、今回は特に「カウンセリングから見たお寺の問題点」や「カウンセリングをお寺でどう生かすか」についてお話をいただきます。体験学習では、実践を通して学びを深めていきます。ミニカウンセリングといわれるものを2日間で2回程度行い、「聞き方」や、自分の気持ちの表現である「話し方」について基礎練習をしていきます。この基礎練習を繰り返し続けてゆけば、ひと通りのことは学べることになっています。また、技術的なことに加えて、それぞれの思いや疑問を分かち合う時間も予定しています。

【学習内容】 公開講義では、「カウンセリングの基本」について教え

西教寺長ノ木本坊本堂修復情報



めでたく上棟

二期工事は予定通り進み、去る九月四日、関係者約百名が集い、長ノ木本坊会館進徳殿(通称表庫裏)で仏式上棟式が行われました。



上棟式は、現場が狭くて足場が悪いので、表庫裏で行いました。水口満夫(修復委員会委員長)さんのあいさつの後、進捗状況の説明がありました。参詣者の皆さんに実際に見ていただければよかったです。残念ながら素屋根がかかっていて見えませんが、事前で作成した七分程度のビデオで紹介しました。最後に岩崎正衛(西教寺住職)のあいさつ。住職は、「いい普請ですね」と言う時の「普請」という言葉は、一般には「建物」を意味しますが、本来は「普く

請う」という意味。もとは仏教で「広く人々に寄附や労役奉仕を募って堂や塔を建てること」からきた言葉と説明。その意味どおり、門信徒の皆さんのご懇志や、工事関係各位のおかげで、この日を迎えることができましたと謝辞を述べました。



あいさつをする水口満夫修復委員会委員長。

また、起工式、上棟式は、神式の場合、工事の安全を神様にお願ひしますが、浄土真宗の場合はそのようなことはしません。「浄土真宗の教章」の中の「宗風」にあるように「深く因果の道理をわきまえて、現世祈禱やまじないを行わず、占いなどの迷信にたよらない」というのが真宗の「家風」ならぬ「宗風」。この言葉は、皆さんに反対にして味わってみてほしい。「因果の道理をわきまえず、現世祈禱やまじないをおこない、占いなどの迷信にたよって生きる、こんな生き方はどうなんでしょう」と参詣者に問いかけました。